一身田の新聞

発行
一身田地区
社会福祉協議会

編集者
岡本博和

寺内町の景観についてシンポジウム開催
志登茂第四自治会の鳥害問題解決に向けて
みんなの便り　投稿・秋に参加しよう！

# 景観に配慮したまちづくり
# シンポジウムが開催される

寺内町整備推進委員会(委員長　中西万喜夫氏)は7月17日、高田本山宗務院大会議室で『津市を彩る景観・まちづくり』シンポジウムを三重大学大学院准教授の浅野　聡先生をコーディネータに迎えて開催した。津市では初めての開催とあって町内外から65名の参加があった。

パネラーとして高田本山広報課の藤谷知良氏、芸濃町楠原の楠原まちなみ景観保全会長の柴田利郎氏、寺内町整備推進委員会委員長の中西万喜夫氏、津市都市政策課長の別府　敏氏の4名が演壇に立った。

津市は平成26年7月津市景観計画の運用を開始、平成28年4月に第一号として一身田を認定した。特に津市は、一身田、楠原、美杉町の多気、奥津、三多気地区を最重点地区としている。津市の今後の方針として、公共施設の整備推進、市民や事業者に対して、工作物は景観に配慮するように呼びかける。(都市政策課別府氏)

基調講演として壇に立った浅野先生は「歴史的価値のある街並みは将来地域の発展に必ず役に立つ。また、無形の物、例えば、方言や郷土料理なども掘り起こし、地域色を出していこう。その為には景観やまちづくりに対しての関心度を高め、学習することが大切」と訴えた。

また、NHKの人気番組『ぶらタモリ』で伊勢と志摩のロケ案内人として出演したことに触れ、「タモリさんや近江アナウンサーは台本を見ずアドリブで番組を構成しています。特に地図や資料を多用して番組を盛り立てています。タモリさんの勉強熱心、好奇心旺盛には感心しました。多分これは体験と学習と継続の積み重ねであろう。違う角度から歴史や文化、資源の掘り起こし、消えた痕跡を探そうとしています」とエピソードを交えて話された。

基調講演の締めくくりとして浅野先生は「一身田には歴史的講座を持てる教材がたくさんあります。これからのまちづくりは身の丈に合って分かり易く、人間優先のまちづくりをすべきです」と訴えた。

**パネラー各氏から提言**

最初に立った藤谷氏は、「本山の使命は親鸞聖人の教えを伝える事である」とした上で、「これだけ大きな物を維持するためにはマーケティング展開が必要です」と述べた。

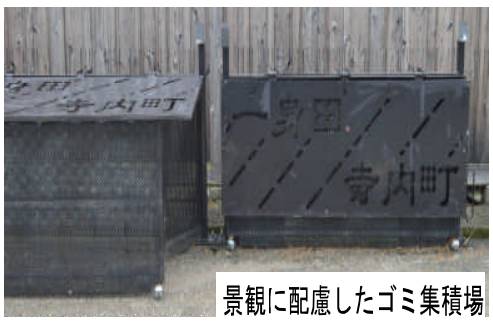
志登茂第2、第3、第4自治会の連名で津市へ要望書を提出するとともに、昨年11月に開催された市長との「第1回一身田地区地域懇談会」において、自治会連合会から早急に改善が必要な「一身田地区の課題」として要望していただきました。また、今年5月に開催された「第2回一身田地区地域懇談会」においても引き続き改善を要望していただき、市長より「本件が生活環境の問題に該当するため今後は環境部が対応する」との回答をいただきました。　その後、6月下旬に市役所地域連携課を訪問し、進捗状況を確認したところ、「現在、環境部への引継ぎの最中であること、当課としても引き続きこの問題に関わっていく」との説明をいただきました。

**「鳥害問題の解決に向けて」**

具体的には安楽庵での茶会、ハス料理、ハスのオーナー制度を取り入れ参詣者の増大や認知度アップを目ざしていきたいと考えている。

柴田氏は楠原地区の現況として、「空き家や耕作放棄地に太陽光発電が置かれ、景観に悪い影響がでている。しかしながら、連子格子や切子格子が連なる町並み、大念仏やとうかん餅など文化や郷土料理を後世まで伝えていきたい」と語った。

中西氏は「一身田寺内町は生活する場であって観光地化されての『見せ物』にしてはならない。清掃活動やもてなしなどのメンタル面での活動を通してまちづくりに貢献していきたい」と語った。



景観に配慮したゴミ集積場

浅野先生の講演

## 志登茂団地
## 鳥害問題の解決に向けて

志登茂第四前自治会長　高倉良男

近鉄高田本山駅の東南に位置する志登茂団地の南側には、カワウやサギなど大型の水鳥が生息する雑木林があり、鳴き声などの騒音や羽毛の飛散、多量の糞による異臭が私たちの日常生活に大きな支障をきたしています。

**「なぜ鳥害被害が起こってきたのか」**

当団地の南側水路土手の樹木等が永年放置されていることや隣接する養鰻池が昨年、メガソーラー発電所の建設に伴い埋め立てられ、行き場をなくした水鳥がその雑木林に集まり、様々な被害を及ぼすようになりました。

**「私たちの取り組み」**

志登茂団地を構成するこうした話し合いを通して、市長が目指している「行政が積極的に地域に寄り添う姿勢」を肌で感じることができました。第2、第3自治会の皆様、一身田地区自治会連合会の皆様 のご助力やご尽力を本当に心強く感じます。

本件の全面解決まであと一歩となり、関係する皆さまの後押しをいただいて更に歩を進める所存です。

サギやカワウの群れ

## 名古屋市港防災センター体験

西平野区自治会長　中尾清章

今年度の防災研修会の目的地は名古屋市港区港明1-12-20にある「名古屋市港防災センター」でした。

7月5日(火)午前8時頃、雲一つない晴天の中、23名の会員を乗せて研修バスがスタートしました。

最初に向かった見学先は「中部電力知多火力発電所」です。電力館の中でビデオ映像等の説明を受けた後、乗ってきた大型バスに座ったままナゴヤドーム約12倍の広い構内の各種設備や施設の案内を受け、短時間で火力発電所のしくみを知ることが出来ました。

次に訪れた「名古屋市港防災センター」では、①地震体験室…過去に実際に起こった震度7クラスの揺れを体験する。②3Dシアター…伊勢湾台風や津波などの自然災害の恐ろしさを学ぶ。③煙避難体験室…火災発生状況の中で煙の特性を理解し、的確な判断に基づく避難姿勢や避難方法を学ぶ。④「伊勢湾台風を知る」コーナー…昭和34年の伊勢湾台風について、当時のラジオ、テレビ等が置かれた部屋の中で映像が流れ、その迫力に参加者全員が昔の悲しい出来事を思い出したのではないでしょうか？

今回の防災研修会への参加者は23名と少なめでしたが、各種体験コーナーに多くの方が積極的に参加するなど有意義な研修会であったと思います。

## スポーツの秋　芸術の秋　文化の秋

盛りだくさんの今秋の一身田のイベントやお祭り
身体にいいコトしよう！

**町民運動会**
9月25日(日)　一身田小学校グランド

**歩こう会**
10月30日(日)　大乃宮所(おおのこそ)神社へ

**公民館文化祭**
10月22日～23日・29日　公民館、寺内町の館、高田会館

**寺内町まつり**
**結婚パレード**
11月13日(日)　高田本山・寺内町

昨年の結婚式　於　高田本山境内

## ご存じでしたか

日本電信電話公社(現NTT)が発足した昭和27年の「三重県電話番号簿」いわゆる電話帳をみることができた。

当時の電話のかけ方は、受話器の横にあるハンドルを回して交換手に繋いでもらっていた。今では考えられない面倒なコトだった。一身田局の早い順に記載する。

**昭和27年一身田局の電話番号　(敬称略)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1番 | 高田宗務所 | 16番 | 魚 歳 |
| 2番 | 望木増蔵 | 17番 | 喜久屋料理店 |
| 3番 | 百五銀行一身田支店 | 18番 | 万屋呉服店 |
| 4番 | 高田専門学校 | 19番 | 一身田役場 |
| 5番 | 今井源之進 | 20番 | 富士被服工業所 |
| 6番 | 松田武兵衛(麻販売) | 21番 | 上村栄一(飼料・肥料) |
| 7番 | 草深弥三郎 | 22番 | 臼井織布工場 |
| 8番 | 古孫呉服店 | 23番 | 松村哲男(薬局) |
| 9番 | 武野順一(医院) | 24番 | 国家警察　芸濃支部　一身田 |
| 10番 | 小林藤吉郎 | 25番 | 日本通運一身田営業所 |
| 11番 | 日本通運一身田営業所 | 26番 | 武野喜蔵 |
| 12番 | 今井俊一 | 27番 | 若竹　下津藤次郎 |
| 13番 | 森川正年 | 28番 | 下津泰造 |
| 14番 | 国鉄　一身田駅 | 29番 | ヤマ善(岸本善太郎) |
| 15番 | 東海近畿農業試験所 | 30番 | 大勢桜 |

# 寿大学　講演から
# 一身田寺内町物語

講師　浅生悦生

## みんなの便り

一身田は全国に誇れる寺内町です。寺内町とは、寺院を中心に堀を巡らし、計画的に作られた宗教の町です。一方、門前町は、伊勢神宮や善光寺、琴平のように周りに人が住みついて自然と町が形成されたものであり、町の形成過程が異なります。

**「一身田の名の由来と発展」**

一身田小学校の南西に「一の宮神社」があり、「御拝前」(本山山門の南側)から遺跡が発掘され、2000年前の弥生時代からこの一身田に人が住んでいたことがわかります。

一身田の名前の由来は鎌倉時代の『神鳳抄』に「□王殿一身田」と記されており、文字が判明しないところは「斎」であると推測され、斎王に与えられた土地が一身田にあり、こうしたことから「一身田」という名前が付いたのではないかと考えられています。

また、一御田神社で発見された棟札から、室町時代(1443年)ごろの一身田は、30数軒の小さな村落であっただろうと考えられています。

ところが、1460年ごろ真慧聖人が「無量寿寺」を一身田に開きます。この高田本山の開山により、一身田は大きく様変わりしていきます。

この地に開山した理由としては、高田派の本寺が関東にあり京都には遠かったことや室町時代の歴代将軍が京都から伊勢路に30数回も巡行していたこと、地元農民の下津氏や平野氏が進んで土地を寄進したことが大きな要因と考えられます。さらに、1510年に常磐井氏が入寺し、織田信長とも良好な関係を結んだことや江戸時代に藤堂藩の強い援助があったことなどから巨大な寺院になりました。

**「庶民の暮らし　橋向茶屋」**

百五銀行一身田支店を南に行くと「常磐橋」という小さな橋があり、この橋の所に門(通称黒門)がありました。この門の南側一帯が橋向地区で、伊勢別街道一の茶屋街と言われていました。この茶屋街には江戸幕府公認の遊郭があり、滝沢馬琴が記した「羈旅漫録」によると、伊勢路では一番が伊勢の古市、二番が松阪、三番が一身田、四番が四日市と書かれており、さらに、「一身田至極繁栄なる地、芝居あり・・・・片岡仁佐衛門くだりて・・・」と記すなど、当時の一身田が賑わっていたことがわかります。

しかし、一方で、生活の貧しさのために奉公という名のもと安いお金で身売りされ遊女となっていく幼い少女たちがいました。こうした遊女は高田本山にお参りすることも許されませんでした。

また、『茶屋由来記』には遊女たちの相対死(心中)の記録が記されており、遊女たちの悲劇を知ることができます。

このように繁栄の歴史だけでなく様々な悲劇の歴史もあり、私たちの歴史に対する多面的な見方が必要と云えます。

**「明治時代の一身田」**

明治時代に入ると、「一身田博覧会」が明治6年に開催されたり、同24年には津で初めての鉄道が開通したりするなど当時の河芸郡の中心となって栄えました。また、歴史遺産の多い一身田の町並みはロケーション銀座と言われるほど多くの映画のロケが行われ、一身田の人々もエキストラとして出演していました。このほかにも、一身田には国宝を始め重要文化財が数多くあります。この一身田の価値ある誇りうる宝である歴史と魅力を地域の皆さんにも知っていただき、今後の一身田の町づくりに活かしていっていただくことを期待しています。

# 男子陸上　走り幅跳びで全国大会優勝

## 一身田中　夏の総体で大健闘

夏休みに行われた中学校総合体育大会において、一身田中学校は各競技で今までの練習の成果を存分に発揮し、優秀な成績を残しました。

陸上競技、バドミントン、水泳競技は三重県大会において上位に入賞し、東海大会に出場しました。特に、陸上競技の男子走り幅跳びでは、藤本君が東海大会で1位となり、全国大会へ出場。全国大会でも自己記録を大幅に更新し見事優勝を果たしました。

詳しい試合結果は、一身田中学校ホームページでご覧ください。

# 我が街の学校紹介

## 学校法人　高田学苑

高田中学校
高田高等学校
高田短期大学

当学苑は寛保元年(1741年)、真宗高田本山専修寺の末寺僧侶の研修道場として開学したことに始まります。

その後、旧制中学、専門学校を設置、新学制に伴い高田中学校、高田高等学校の認可を得、後に中高一貫教育を実施しています。

また、昭和41年(1966年)短期大学を設立し、保育科(現子ども学科)を開学、昭和59年(1984年)教養科(現キャリア育成学科オフィスワークコース)を開設、平成18年(2006年)人間介護福祉学科(現キャリア育成学科介護福祉コース)を開設、現在2学科2コースとなっています。

本学苑は仏教教育による人間味の豊かさを深め、「やわらかな心」で広い視野から社会に貢献できる人材の養成をめざした教育を行っています。

# 認定こども園
# こどもの杜　ゆたか園

こどもの杜ゆたか園は、平成24年6月に一身田地区の池や森などの自然豊かな場所に認可保育所として開園致しました。

比較的新しい園ですが、法人(社会福祉法人豊津児童福祉会)としての歴史は古く、昭和26年、河芸町のひとつの託児所から始まりました。(現在7つの園を運営)

また、こどもの杜ゆたか園は、今年の4月から幼保連携型認定こども園へ移行し、一号認定を含めた定員129名の施設です。

やわらかな陽ざしと木のぬくもりを感じる“みんなのおおきなおうち”。居心地のよい家庭的な雰囲気の中、いろいろな遊び体験を通して何かを感じ、人として必要な豊かな感性と優しい心を身につけられるよう、日々の教育、保育に努めています。

見当山の新池近くにできた　ゆたか園　ホームページより

# 第40回
# 一身田公民館文化祭
## 「来て　見て　聞いて　友の作」
～楽しい秋の一日を～

☆とき：10月22日(土)23日(日)29日(土)
☆ばしょ：公民館、寺内町の館、高田会館
☆じかん：午前9時～

本年度も右記の日程で公民館文化祭を開催します。22日・23日は作品展示、29日は発表会を予定しています。公民館で学ぶ講座生の力作をぜひご覧ください。

また、高田保育園児によるマーチングバンド、日用品バザー、健康相談、喫茶・軽食コーナーなども文化祭イベントとして行いますので、地域の皆様もぜひ公民館へお立ち寄りください。皆様のお越しをお待ちしています。なお、詳しくはチラシなどでご確認いただくか、直接お問い合わせください。　232－2108

## 十月三〇日に
## 町民囲碁まつりを開催

一身田公民館囲碁サークル「木曜会」は、「一身田公民館文化祭」の一環として、10月30日(日)午前10時から「町民囲碁まつり」を開催します。棋力別の紅白戦、ペア碁を行います。

現在、参加者を先着24名様まで募集しています。囲碁愛好者ならどなたでも参加できます。申込期限は10月21日(金)まで、参加費は昼食代、賞品等を含み1，500円です。申込は若林泰弘(☎232－2372)まで

# 「海山カップ」優勝

一身田スポーツ少年団　団長　小澤康孝

8月20、21日に紀北町で三重県内24チーム参加で開催された「海山カップ小学生ソフトボール大会」で一身田スポーツ少年団が優勝しました。

一回戦は明星すぽーつ少年団に2-0、二回戦は佐奈ソフトボールクラブに17-4、準々決勝は海山クラブに16-5、準決勝は度会イーグルスに1-0、決勝戦は中原スポーツ少年団に3-2で勝利し、優勝しました。

賞状・トロフィー・盾・メダルをいただき、団員たちは夏休みのいい思い出を作ることができました。

# 寺内町まつり・和婚まで二カ月

・とき　11月13日(日)
・ところ　本山・寺内町
一身田商工振興会会長　中川隆功

11月13日(日)一身田寺内町まつりが開催されます。本年で20回目となります。本年も一中カンパニーやよさこい、寺内町総踊りなど様々な催しが開催されます。合わせて第4回一身田しあわせ和婚も開催されます。高田会館ホールにて仏式結婚式を挙げた後、高田本山境内にて十二単姿のお披露目。午後には人力車による結婚パレードを行います。パレード途中では着物のショーや子供たちへのお菓子の振る舞い、パレードゴールではお祝い餅の振る舞いもあります。商店街では二人を祝う「大正ロマン商店街大売出し」を開催。「寿」「和」「大正ロマン」にちなんだ限定商品も販売され、これらの商品が当たるガラガラ抽選会も実施されます。仲之町通りでは「まちかど博物館」や「マルシェ」の出店もあります。

昨年の結婚パレード　人力車で披露

## 最近の出来事

※8月13日本山境内で「一身田大盆踊り大会」開催。行燈・折り鶴コンクールも実施
※8月31日高田学苑グランドで同学苑・北区・桜町・中区・東町自治会共催の防災訓練を行う。
※9月11日人権センターで「敬老のつどい」開催。70才以上約2，600人が対象。100才以上の方4人、90～99才の方153人(7月1日現在)
この項8月30日現在